

柴田町

第 29C 行政区地域計画

(令和 5 年度から令和 9 年度まで)

挨拶のあるきれいな町

思いやり助け合う

住みよい町



令和 5 年 3 月

～ 目 次 ～

はじめに	P1
1. 地区の概要	P2
2. 地域活動の紹介	P3～5
3. 地区の課題	P6～7
4. 第 29C 区地域の将来	P8
5. 地域計画の基本方針	P9
6. 地域計画推進体制	P10
7. 活動計画	P11～14
8. 参考資料	
「第 29C 区町内会自主防災会規約」	
「第 29C 区町内会自主防災会防災計画」	
「地震・大雨発生時の行動フロー表」	
9. 「元気な高齢者になりましょう」事務局より	

はじめに

自分達の住む第29C行政区のこれから5年についての地域計画をつくりました。

はじめに申し上げたいことは、この計画は「柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」を基にたてていることです。

その条例の中では、「住民が主役で、地域を点検し、話し合い、知恵を出し合って、それぞれの役割や責任を確認し、もっと住みやすい地域にすることを目指す」と謳っております。

そしてこの計画を進めていくうえで、「住民ができることはできるだけ住民がやり、できないところを行政が行うことにして、同じ目標に向かって協働する」と解説しております。

高齢化が進むなかで、ますます近所同士の助け合い、支え合いが大切になります。

これからの5年間は、このことが地域にしっかり根付くように、計画を進めていくことが活動の要件になります。

みんなでいっしょに取り組みましょう。

第29C行政区

行政区長 高田三郎

1. 地区の概要

第 29C 区は西船迫住宅団地内の 1 行政区であり、当団地は、宮城県長期総合計画の一端を担うものとして柴田町と宮城県住宅供給公社の共同で計画されたもので、町と公社は以下の要件を基本理念として打ち出した。

- ・ 自然環境を保全した住宅団地
- ・ 人にやさしい利便性と安全性を追求した住宅団地
- ・ 魅力ある仙南中核都市をめざす柴田町にふさわしい住宅団地

歴史

- 1977 年（昭和 52 年） 10 月：分譲を開始
- 1978 年（昭和 53 年） 6 月：仙南ガスが船迫住宅団地内にガス事業を開始
- 1980 年（昭和 55 年） 4 月：柴田町立船迫小学校開校
- 1980 年（昭和 55 年） 11 月：町内初の大型小売店「サンコア」開店
- 1984 年（昭和 59 年） 8 月：船迫生涯学習センターの開設
- 1985 年（昭和 60 年） 12 月：柴田バイパス全線開通
- 1987 年（昭和 62 年） 4 月：柴田町立船迫中学校開校

当行政区の人口は、柴田町内 42 行政区の中で西住町などの第 30 区に次いで多く、県営住宅 7 棟、町営住宅 2 棟のほか民間アパートなどの集合住宅もあり若い世帯も多いが、平成 6 年の 2,456 人をピークに令和 4 年 8 月末時点では 1,938 人に減少し、少子高齢化が進んでいる。

男女・年齢別構成は以下のとおりで、団地開発時に一斉に入居するという特色もあって、現在は団塊の世代及びそのジュニア世代の割合が高く、65 歳以上の高齢者の割合は 43%と柴田町全体の約 30%に比べ高い状況が続いている。

	男	女	計	%
10 歳以下	61	40	101	5
10 代	93	88	181	9
20 代	65	64	129	7
30 代	77	81	158	8
40 代	127	141	268	14
50 代	78	102	180	9
60 代	90	116	206	11
70 代	209	268	477	25
80 代	92	90	182	9
90 代	12	44	56	3
100 歳以上	0	0	0	0
計	904	1,034	1,938	100

2. 地域活動等の紹介

(1) 第 29C 区町内会

昭和 61 年 3 月の発足とともに「第 29C 行政区町内会会則」を施行し、令和 5 年 3 月で 38 年目を迎える。

総務部を含めて 5 事業部で構成し、地区内に 42 の班を置いて主に以下の活動を実施している。

- 清掃美化による区域内的の生活環境改善活動
- 防災防犯、交通安全等の住民の安全確保活動
- 会員相互の福祉、健康の増進活動
- 敬老会の実施
- 子供会等の団体活動の育成、援助活動



2022. 9. 16 出前講座「介護予防」



2022. 10. 23 ごみゼロ運動

※ コロナ禍のため、令和 2 年から人を集めての行事を行えない状況が続いたが、政府によるウイズコロナにおける社会活動の正常化という動きもあり、令和 4 年 9 月に出前講座「はじめましょう介護予防講座」を人数制限のうえ開催したのを契機に、屋外でも 3 年ぶりに「ごみゼロ運動」を実施するなど、感染対策を踏まえた上で状況を見ながら活動を再開している。

活動を支える役員は、前年より 4 名減少し現在 17 名で運営しているが、他の行政区と同様に現役世代のなり手がおらず高齢化が進んでおり、従来の自薦・他薦による方法以外に選出方法を考慮すべき時機に来ている。

(2) 子供会

少子化による児童数の減少と子供会加入者数の減少が顕著である。2 丁目の加入者数は 30 名で、廃品回収や公園清掃、親子活動などを行っているが、3 丁目の加入者数は 7 名と少ないため、事業を縮小しながら活動を行っている状況である。



2 丁目子供会による廃品回収

(3) 公園愛護協力会

平成 16 年から活動しており、会員 13 名と 2 丁目子供会役員で構成し、地区内にある公園 4 か所の管理と美化促進を目的に、公園の清掃・除草、遊具施設の管理、トイレの清掃等を行っている。

特に令和 4 年度は柴田町の協力を得て、公園内の樹木で民家へ越境しているものや見通しを悪くしているものの伐採や枝おろしを実施した。



2 号公園での剪定作業



西船迫公園のトイレ清掃

(4) 船迫小学校安全パトロール隊

令和 4 年度は 18 名の隊員で構成し、学区内 8 か所の交差点において毎朝、子どもの安全な横断を確保し見守り活動を実施している。また、小学校 PTA が 8 か所のほか北船岡、新生町、本船迫において毎月 5 のつく日に交代制で活動している。

現状では発足当時からの隊員を中心に高齢化が進んでおり、新たな隊員の確保が課題となっている。



船迫小学校前



ダイソー船岡店横

(5) 地域防犯連絡員

地域の防犯活動において、警察と地域住民との連絡役を主な役割として現在 8 名の方が在籍しており、町内のゴミ拾いを兼ねながらパトロール活動を行っている方もみられる。

(6) 民生委員児童委員、柴田町社会福祉協議会 29C 区支部役員

民生委員児童委員は西船迫 2 丁目と 3 丁目に 2 名ずつで担当し、ひとり暮らしの高齢者や子育て世代の支援を中心にその活動内容は多岐にわたる。柴田町社会福祉協議会 29C 区支部役員は民生委員児童委員との協働により、「ほのぼのサロン」の運営や「敬老会」の実施等に携わっている。

(7) 各種サークル活動

この地区で活動を行ってきた多くのサークルにとって、活動の拠点である船迫生涯学習センターがワクチン接種会場となって使えない期間が長期化したことと、高齢化が追い打ちをかけて解散の危機に陥っているサークルがみられる。一方、活発に活動しているサークルがあり以下に一部を紹介する。

① ダンベル運動

・「29C区ダンベル愛好会」

西船迫4丁目の集会場を借りて、第1・第4木曜日にダンベル運動を、第3木曜日には町内のゴミ拾い活動を行っている。筋トレと全身ストレッチにより介護・認知症予防に効果的。会員約15名。



② ノルディックウオーキング

・「あいの会」

毎週金曜日に西船迫公園に集まり、準備運動をしっかりと行ったあと船岡城址公園までウオーキングするほか、川崎町のみちのく公園等への遠征も行っている。会員約15名。



③ グラウンドゴルフ

・「さくらの会」

西船迫1号公園で、毎週月・水・土曜にグラウンドゴルフを楽しみながら公園清掃も行っていており、おかげさまでいつもきれいです。会員18名。



3. 地区の課題

このたび、今後5年間の地域計画を策定するにあたり「アンケート」を実施した結果、少子高齢化を起因とする課題や、地区の防災・防犯、環境衛生、運動する機会の確保、子どもの育成などに多くの関心や要望が寄せられた。

「アンケート」の集計結果は以下のとおり。

コミュニティ	町内会活動の充実	49	社会福祉	高齢者の見守り	98
	世代間交流の行事	31		介護予防講座の開催	61
	住民の親睦を深める行事	66		ゴミ出しの支援	55
	居場所（サロン）の設置	57		スマホ教室やSNS活用講座	26
	活動に関する情報共有	63		老人クラブ活動	36
	気軽に参加できる雰囲気づくり	95		居場所（サロン）の設置	71
	町内会活動の見直し	41		敬老会の充実	21
	小計	402		高齢者向け講座やイベント	64
防災対策	防災訓練の実施	90	小計	432	
	防災意識を高める講演会	59	体育文化	ウォーキングの普及	81
	応急手当など救命講習会	56		軽スポーツ大会の開催	29
	防災資材の整備	58		健康やスポーツ講座	46
	自主防災組織、避難所運営体制	64		健康体操などの普及	69
	消防団の体制強化	38		健康料理教室	38
	災害時要支援者の支援強化	83		生活習慣病などの講演会	62
	小計	448		町内運動会	21
防犯対策	防犯パトロールの実施	92		健康診断の普及	45
	危険個所を示すマップの作成	64	小計	391	
	特殊詐欺など被害防止活動	54	子どもの育成	子供向け講座やイベント	57
	通学路における見守り活動	86		地域ぐるみのあいさつ運動	120
	防犯灯の整備	106		子供会などの充実	47
	交通安全看板の設置	23		地域の歴史や文化を学ぶ機会	55
	迷惑駐車防止活動	46		子どものボランティア活動の支援	58
	小計	471		高齢者との交流行事	60
環境衛生	清掃活動（草刈、ゴミ拾い）	105		小計	397
	空き家や空き地対策	81		アンケート回収 208通のうち	
	植栽や花壇づくり	35	2丁目 83通（女53 男30）		
	ペットマナーの啓発	81	3丁目 125通（女50 男75）		
	不法投棄防止などのパトロール	49	年代別では		
	ゴミ出しルールの啓発	87	30代7通 40代9通 50代24通		
	落書きや違法な張り紙の除去	11	60代34通 70代109通 80歳以上25通		
	小計	449			

また、アンケート調査に伴って数多くの意見がありその一部を掲載。

コミュニティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所がないので、予約をしなくても使え、派閥がなく気軽に立ち寄れる場所がほしい ・コロナで集まれないので仕方がないが誰が何をしているのか分からない ・予約なしで参加できる行事だと気軽に参加できる
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ何が起きるか分からないので定期的な防災訓練は必要だ ・防災倉庫に準備している品目が分からない ・一人暮らしの人が多くなっているが支援を必要としている人が分からない
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯を増やしてほしい ・防犯カメラを設置してほしい ・特殊詐欺の情報の共有、対策の周知があるとよい
環境衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみをカラスがつついて困る ・犬や猫のフンで困っている ・ごみ当番で掃除もしないで回してくる人がいる ・隣の家から木や草が出て困っている ・花壇に人間も入って犬に排便させている ・歩道の草刈りをまめにしてほしい
社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの見守り、くつろげる場所の確保 ・ゴミ出しが困難になっている人がいる ・スマホを持っているが使いこなせていない
体育文化	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の運動会は自由参加で参加しやすかった ・ラジオ体操やウォーキングなど自由参加のもの ・高齢化で以前のような運動会は体力に不安がある
子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは一番身近なコミュニケーション ・子どもたちとふれあう機会を持ちたい ・町内会が子供会や高齢者と連携事業の検討を
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息して安心して集まりを持ちたい ・老人クラブの再結成をお願いしたい ・小学校の駐車場や道路での父兄の駐車マナーが悪い ・アフターコロナを意識した地域計画を望む ・夏祭り、盆踊り、運動会など気軽に楽しめる行事 ・町内会費から赤い羽根などの募金はやめるべき ・募金などは班長の集金が大変、町内会費から出して ・町内会役員の高齢化、若い世代への交代が急務 ・班長やゴミ当番が人頼りになり不甲斐ない ・役員は大変、身体を壊さないように ・あいさつのあるきれいなまちづくり、思いやり助け合う住みよいまちになるといい

4. 第 29C 区地域の将来像

挨拶のあるきれいな町 思いやり助け合う 住みよい町

アンケート調査のご意見欄に頂いた言葉です。

世代を超えてご近所同士で助け合い、

楽しく元気に暮らしていけるようにしたいものです。

役員全員が賛同し選ばせていただきました。



5. 地域計画の基本方針

「柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」に基づき、地域住民が主体となつて、住民で出来ることは住民で取組むことを基本とする。

(1) コミュニティ

あいさつ運動や集える場所の確保によりコミュニティ活動を下支えする。
また、活動内容を配信して見える化し、地域活動への理解を進める。

(2) 防災活動

大規模災害に備え防災訓練を実施するとともに、防災倉庫の備品や食料の更新を行い、避難所開設を想定した事前準備を進める。

(3) 防犯活動

危険個所を把握しマップを作成するとともに、下校時間に合わせた防犯パトロールを実施する。また、空き家による問題発生を防止を図る。

(4) 環境衛生

ごみゼロ運動を継続するとともに、公園の除草作業や適切な樹木剪定によりやすらぎ空間を確保する。

また、ペットマナー、ゴミ出しマナー徹底を継続し、ゴミ集積所の修繕や老朽化対応により集積・収集の適切な運用を確保する。

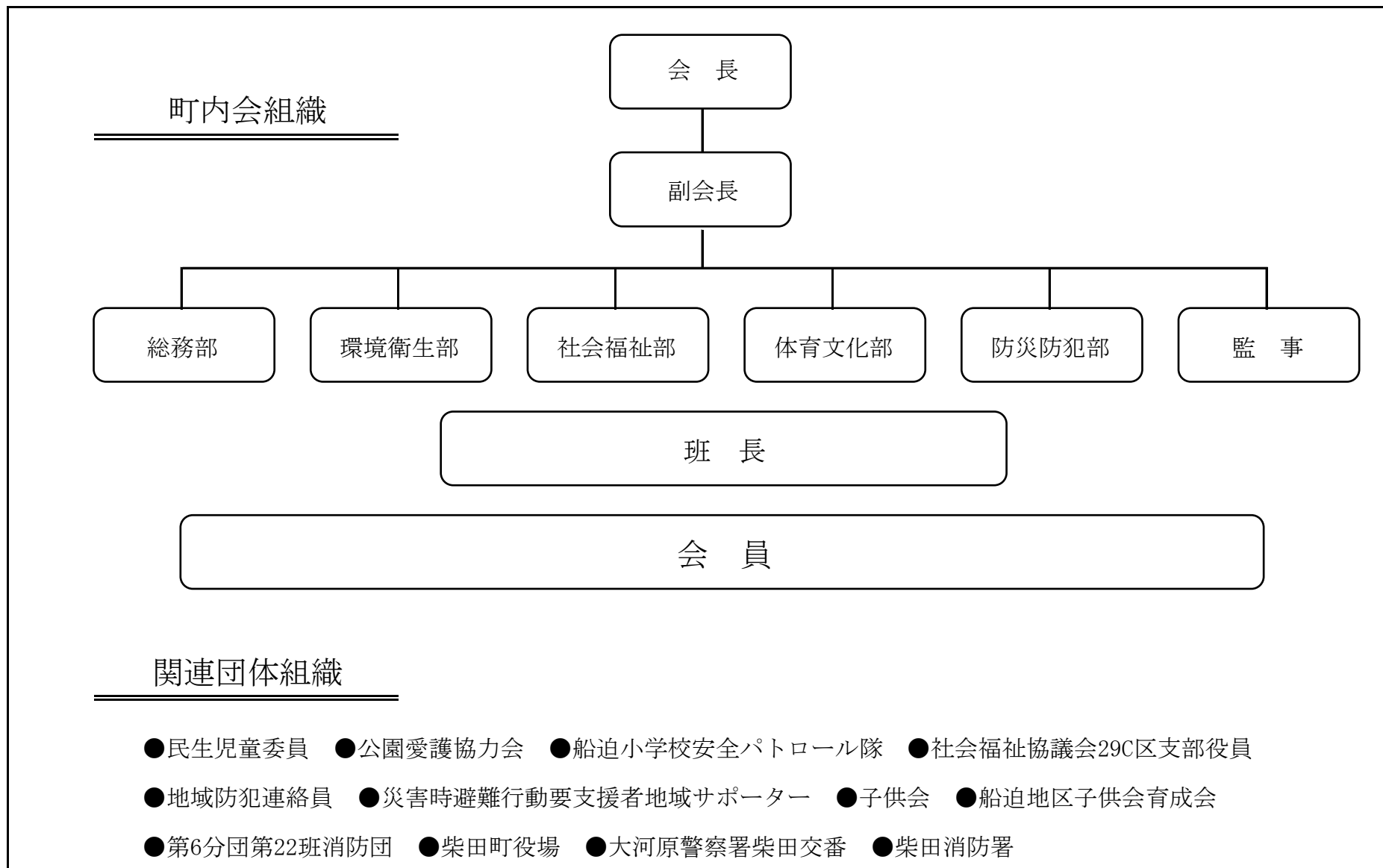
(5) 社会福祉

敬老会を継続実施するとともに、高齢者等が孤立しないような取組みを行う。

(6) 体育文化

誰でも参加できる運動や健康維持の機会をつくり、文化活動を支援する。

6. 地域計画推進体制



7. 第29C区地域計画（活動計画）

番号	分野	事業名	活動主体	活動内容	実施スケジュール（事業年度）					協働団体
					5	6	7	8	9	
1-1	コミュニティ	町内会活動状況の随時発信	総務部	町内会だよりの随時発行やインスタグラム等の利用により活動状況を広く発信する	○	○	○	○	○	
1-2	コミュニティ	談話スペースの開設	総務部	予約なしでいつでも使えるスペースを確保して住民同士の親睦の場を作る	○					柴田町
1-3	コミュニティ	子供会との連携	総務部	少子高齢化、子供会会員数の減少を踏まえ連携した活動により世代間交流を図る	○	○	○	○	○	子供会
1-4	コミュニティ	空き家の把握と対応	総務部	空き家の荒廃による近隣への影響、犯罪の防止に備える	○	○	○	○	○	柴田町 民生委員
2-1	社会福祉	敬老会の実施	社会福祉部	柴田町の必須事業として長寿を祝い永年の社会貢献に感謝する	○	○	○	○	○	民生委員 社協支部
2-2	社会福祉	一人暮らしの高齢者等の見守り	町内会	災害発生への備えと孤立をさけるため日ごろの見守りを行う	○	○	○	○	○	民生委員
3-1	環境衛生	ごみゼロ運動	町内会	多くの住民が参加することで「きれいな町づくり」の意識づけを図る	○	○	○	○	○	
3-2	環境衛生	ゴミ集積所の補修改善	環境衛生部	利用者の声を聞き、その都度補修改善を図る	○	○	○	○	○	柴田町
3-3	環境衛生	ペットマナーの啓発	環境衛生部	現状の周知を図り要所に看板を設置する	○	○	○	○	○	柴田町
3-4	環境衛生	公園の愛護事業	町内会	樹木の剪定、除草、清掃を行い、集いの場として美化・維持を行う	○	○	○	○	○	柴田町
4-1	体育文化	ウォーキング会開催	体育文化部	町内外の史跡名所めぐりを含め、体力に合わせた健康づくりに努める	○	○	○	○	○	柴田町

7. 第29C区地域計画（活動計画）

番号	分野	事業名	活動主体	活動内容	実施スケジュール（事業年度）					協働団体
					5	6	7	8	9	
4-2	体育文化	健康体操教室の開催	体育文化部	健康体操、軽スポーツ等を子供から大人までの参加で親睦を深める	○	○	○	○	○	柴田町 仙台大学
4-3	体育文化	健康料理教室の開催	体育文化部	町内の食材を用いた健康料理や郷土料理を通じ食文化を学ぶ	○	○	○	○	○	町内会
4-4	体育文化	スマホ講座の開催	体育文化部	スマホの基本操作を学び生活に役立てる	○	○	○	○	○	町内学生
4-5	体育文化	文化芸術作品の展示会開催	体育文化部	趣味の絵画、書道、俳句等の芸術作品を展示する機会を設け文化の発展に繋げる	○	○	○	○	○	柴田町 町内会
5-1	防災防犯	防災訓練の実施	防災防犯部	大規模な災害を想定し住民の安全を確保することを目的に防災訓練を実施する	○	○	○	○	○	柴田町 消防関係
5-2	防災防犯	避難所運営の事前準備	防災防犯部	避難所となる生涯学習センターと小中学校や近隣行政区と避難所運営の事前打ち合わせを行う	○	○	○	○	○	ふるさと 協議会
5-3	防災防犯	災害備蓄品の更新と啓蒙	防災防犯部	防災倉庫に保管する災害備蓄品を適切に管理し各世帯での備蓄に関する啓蒙活動を実施する	○	○	○	○	○	柴田町
5-4	防災防犯	災害時要支援者への継続支援	防災防犯部	「第29C区自主防災会防災計画」等に基づき避難行動等の継続支援を行う	○	○	○	○	○	地域 サポーター
5-5	防災防犯	防犯パトロール体制の整備	防災防犯部	主に登下校時の子供の見守りを中心に体制整備を図る	○	○	○	○	○	町内会
5-6	防災防犯	防犯灯効果のアフターフォロー	防災防犯部	柴田町による防犯灯LED化による効果を検証し、新規設置の必要性を継続的に検討する	○	○	○	○	○	町内会
5-7	防災防犯	火災予防の啓蒙	防災防犯部	「火の用心」旗の配置等について効果的な配分と運用を検討する	○	○	○	○	○	町内会

8, 第29C地域計画（事業費内訳）

番号	分野	事業名	事業費（千円）					費用内訳			備考	
			合計	5	6	7	8	9	町	交付金		町内
1-1	コミュニティ	町内会活動状況の随時発信	70	14	14	14	14	14			70	町内会だより印刷 1回3,440円×4 =年13,760円
1-2	コミュニティ	談話スペースの開設	90	90							90	書庫購入70,000円 暖房設備20,000円
2-1	社会福祉	敬老会実施	5,300	1,040	1,050	1,060	1,070	1,080		3,500	1,800	交付金=77歳以上 人数×2000円
3-1	環境衛生	ごみゼロ運動	300	60	60	60	60	60			300	軽トラレンタル ゴミ袋、トング
3-2	環境衛生	ゴミ集積所の補修改善と建替え推進	150	30	30	30	30	30			150	ネット等の補修材 掃除用具 毎年2か所程度建替え
3-3	環境衛生	ペットマナーの改善	25	5	5	5	5	5			25	看板設置材料他
3-4	環境衛生	公園の愛護事業	500	100	100	100	100	100			500	ゴミ袋、除草用具
4-1	体育文化	ウォーキング会開催	30	6	6	6	6	6			30	保険料その他
4-2	体育文化	健康体操等の教室	30	6	6	6	6	6			30	保険料その他
4-3	体育文化	健康料理教室の開催	50	10	10	10	10	10			50	食材費用 保険料その他
4-4	体育文化	スマホ講座開催	60	12	12	12	12	12			60	複数回予定

8, 第29C地域計画（事業費内訳）

番号	分野	事業名	事業費（千円）						費用内訳			備考
			合計	5	6	7	8	9	町	交付金	町内	
5-1	防災防犯	防災訓練の実施	250	50	50	50	50	50			250	
5-3	防災防犯	災害備蓄品の更新と啓蒙	500	100	100	100	100	100			500	独居高齢者向け 長期保存可能食料 品、用品
5-6	防災防犯	防犯灯のアフターフォロー	640	320	320						640	各年度 既設60×1 新設260×1